

茶話～タイムズ

Vol.08

2020年9月
発行



発行元：奈良市地球温暖化対策地域協議会 (NEW)

怒ると怖い相手と 同居中？！

～同居相手は姿が見えない～



ウイルスとの共生



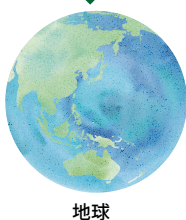
ウイルスは、生命体の進化に何億年も関わり、人類と共生しているパートナーです。現在の生態系を創ってきた三枚目俳優かも。コロナウイルスと賢く付き合ひましょう。地球温暖化での賢い選択 (COOL CHOICE) のように。

地球で命を育まれている私たちは、地球と共生しています。望んではないのですが、コロナウイルスとも共生していますよね。
ウィズコロナです。
新型コロナウイルスには、共生することの難しさをたくさん経験させられています。これは「共生しています」と冷静に言える状態ではなく、「直ぐ横に居る」、「同居している」と言いたい、そのような切迫感、恐怖感の様相です。

病原体の大きさの比較



人間を地球の大きさに例えると



コロナウイルスは小さすぎて、目では見えません。一方で地球は大きすぎて見えません。
身近に同居する細菌の場合、顕微鏡（一万円）でしか見えないのに、気を遣って除菌や抗菌をしています。体積が細菌の千分の一しかないコロナウイルスは、電子顕微鏡（一億円）でしか見えません。
一方の地球は、人工衛星から見えますが、地上を歩きながらでは大きすぎて、

その姿を見ることはできません。
見えない相手との同居は、何かと気を遣いますね。同居相手の地球に気を遣わないと、同居（共生）できません。
地球は、自身で起きている『地球温暖化』のことをどのように思っているのでしょうか？
私たちが暮らしているこの地球のことを、地球と一緒に考えてみませんか。

うっかりミスなのに
見逃してくれない



WHOは、6月6日になって「コロナ感染症状のない人もマスクを」と呼びかけるようになりました。

これは、症状が出る前から他人に感染させているリスクが判ったからです。

感染しないようにマスクを着用しても、予防効果はほぼありません。マスクの効果は、コロナ感染者が大声を出すなどで拡散する飛沫の予防です。

しかし、感染しても潜伏期間や、無症状の事例もあるため、感染したかどうかを自覚することは困難です。そのため「**誰もがマスク着用**」が常識になります。

徹底した3密防止の集会でも、無意識の手渡しや瞬間の大声など、個人の小さな不注意は、コロナウイルスが見逃すことなく同居人に感染し、増幅されてクラスターから世界規模（パンデミック）になります。『蟻の一穴天下の破れ』です。

同居が嫌でも 別居はできない!?

同居のままだと
自粛で息が詰まりそう



パンデミックになってから半年以上、都市封鎖や自粛要請などもあつて世界の人々は、徹底した3密防止を求められています。

厚生労働省が5月に提示した『新しい生活様式』も、自粛生活に類する実践ばかりです。

少しは明るい日常生活をさせないのでしょうか？

ウィズコロナでは、感染ピークの山をできるだけ低く抑えながら、時間をかけて集団免疫力を高め、混乱を次第に終息させる道筋が言われています。

一方で、コロナとの共生が長引くことで、人々は自粛効果が効いてもう大丈夫だとか、経済を回していくためには止むを得ないとかの口実で、ついつい元の生活に気が向いていきます。

しかし残念ながら、同居コロナは、気付かない油断も見逃さずに感染拡大します。

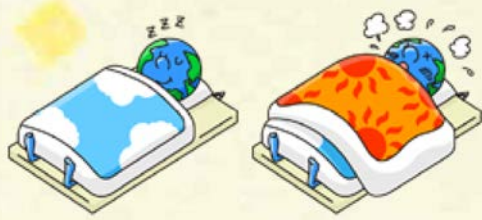
地球温暖化でも、「今年の天候不順

は去年よりもまし」と安心してしまつたり、省エネなどへの無関心や無知、不用意で気付かない個々人の行為は、その積み重ねで地球からのお仕置き（気候変動）を受けることになります。快適な布団で寝ていた地球に、人々が少しずつ二酸化炭素などの布団を重ね、図の右側のように、布団を重ねられた地球は、布団の中が次第に暖くなり、何年もかけて地球温暖化を続けます。

私たちは、同居相手の顔を絶えず見ている必要があります。

しかし、布団を重ねられた地球がその顔色を変えるのは、数十年後のことになります。今も布団を重ねています。が、今の顔色を見て安心すると、取り返しのつかない気候変動になります。気を緩めることができないのは、コロナウイルスだけではないのです。

二酸化炭素の布団が
重ねられて、寝苦しい暑さに



出典：一般財団法人 家電製品協会ウェブサイトより

忘れた頃、
手ひどいお仕置きが
待っている。



同居中のコロナウイルスに油断すると感染し、その14日後に発症します。発症でPCR検査が陽性なら、「14日前には何をしましたか？」と問われ、油断く発症の時間差に、後悔の記憶をたどるでしょう。

地球温暖化の場合、この時間差は数十年（上昇温度の安定は100年）もありますから、とても後悔の記憶をたどることはできないでしょう。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、地球温暖化の気温上昇について予測しています。（左ページのグラフ）対策が十分な予測（青線）と、対策はそのままの予測（赤線）を示しました。このグラフの始まり部分を拡大（下のグラフ）すると、2023年ころまで、青線と赤線の変化に違いが起きていません。

一生懸命に対策をしても、その効果が現れてくるのは数十年後です。

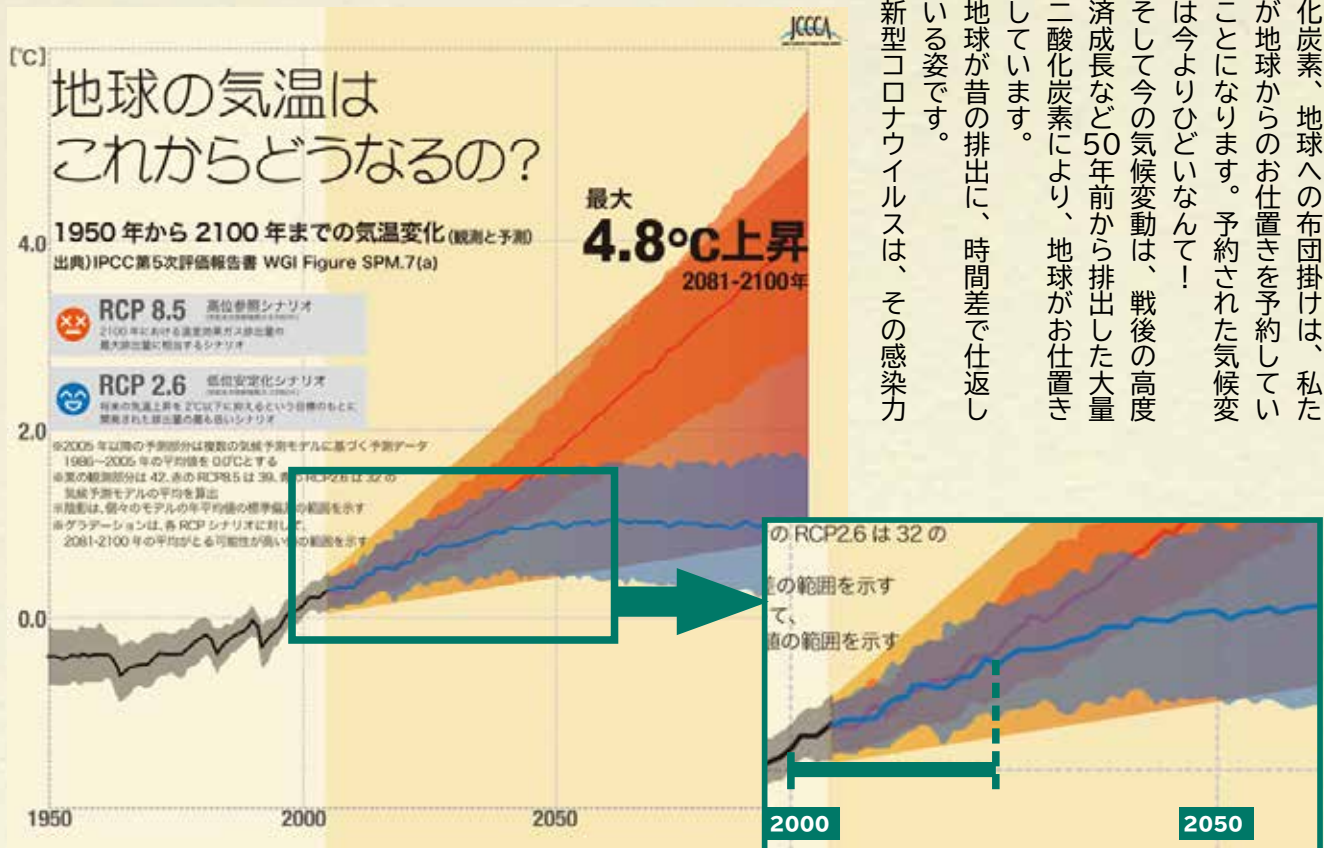
今、私たちが地球に排出している二

酸化炭素、地球への布団掛けは、私たちが地球からのお仕置きを予約していることになりました。予約された気候変動は今よりひどいなんて！

そして今の気候変動は、戦後の高度経済成長など50年前から排出した大量の二酸化炭素により、地球がお仕置きをしています。

地球が昔の排出に、時間差で仕返ししている姿です。

新型コロナウイルスは、その感染力



出典：IPCC 第5次評価報告書 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

IPCC の第5次評価報告書

温度上昇の予測のうち、上のグラフの青線はRCP2.6(低位安定化シナリオ)で、赤線はRCP8.5(高位参照シナリオ)です。

パリ協定の目標

2050年までに、温室効果ガスの80%削減などを決めています。



私たちは、先ずは2050年での脱炭素社会に向けて、着実な対策の継続が必要です。将来世代のために。

や致命的な疾患が世界の社会経済システムに大きな混乱を与えて、コロナショックとも言われています。

また市民レベルでも、外出自粛の影響による家庭などでの電力消費量の増加や、臨時休校による学校給食の廃棄や飲食店の休業による食品ロスの増加、コロナ対策でのプラスチックごみの増加など、コロナショックの波及は

これからも同居していきます!?

地球と共生する新しい暮らし方とは？



生活の隅々にまで現れて、避けては通れない同居相手です。

地球環境では、プラスチック製品との共生も問われています。今まで日常生活で何気なく便利に利用していますが、従来の常識からの決別、気持ちを切り換えた翌朝の目覚めが必要です。

地球との同居を続けましょう。

省エネしたくない人にとつて、省エネをするには努力が必要です。でも、省エネしたい人は、省エネしていることを「努力している」とは言いません。つまり、省エネが「カッコいい」という価値観になればいいのです。

このような価値観の世の中に変革したいですね。

地球には、本当は私たちを育ててくれている故郷のやさしさがあります。私たちの子や孫にも、このやさしさを伝えていけるよう、「地球温暖化への新しい暮らし方」を考えていきましょう。

小さな取り組みも、やがては世の中を変えていきます。少しずつ顔色が厳しくなる地球、この同居人への気配りは、地球へのささやかな感謝です。

脱・プラスチックにむけて

レジ袋有料化スタート

2020年7月1日より全国でプラスチック製買物袋の有料化が始まりました。

プラスチックは非常に便利な素材で、私たちの生活に貢献して共存しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。

普段何気なくもらっているレジ袋、それが本当に必要かを考え、ライフスタイルを見直すきっかけにしてみませんか。

脱プラスチックコロナ

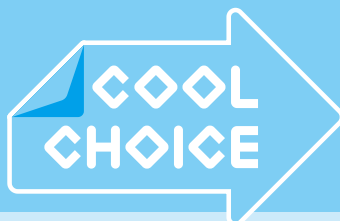
コロナ感染予防の取り組みも、プラスチックごみの増加を後押ししているようです。

国連によれば、ウィズコロナになつてからテイクアウトの商品などにプラスチック製品が多用され、その廃プラの75パーセントはリサイクルされていません。

それで国連は、プラスチック製品の使用量を削減し、ガラスや陶器のほか、天然繊維や紙、段ボール、お米のもみ殻、天然ゴム、動物性たんぱく質など、地球に返しやす素材に切り替えるように各国の政府へ要請しています。

マイバッグ・マイボトルを持とう！

使い捨てプラスチックを減らすため、レジ袋やペットボトルの利用を控えましょう。



COOL CHOICE は脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという国民運動です。

主な取り組み



1回で受け取りませんか
再配達を減らそう！

荷物の発送・到着時の日時指定や受取場所の指定、宅配ロッカーなどを利用して、できるだけ1回で受け取りましょう。



省エネ家電に買い換えよう！

「統一省エネルギーラベルの星の数の多い家電への買換え」や「LED 照明への買換え」で家庭をもっと省エネに。

「移動」を「エコ」に。

smart move

移動をエコにしよう！

徒歩や自転車、公共交通機関の利用、エコドライブの実践、カーシェアリングなど最適な移動方法で移動をエコに。

皆様へのお誘い

NEW では、市民生活での賢い選択 COOL CHOICE が促進できるように活動しています。気候変動などについてもっと詳しく知りたい方、一緒に活動してみたい方は、ぜひ事務局へお問合せください。

今年は新型コロナウイルスの出現で、世界が一変してしまいました。コロナと共存しながらいかに生活と経済を立て直していくのか、世界が模索中です。元に戻るのではなく、地球温暖化や様々な社会問題にも対応できる「より良い社会づくり」に向けて、今こそクールチョイス！

同じお金を使うなら、未来世代を考えよう。

NEW 会長 清水順子

NEW
新 和



発行 奈良市地球温暖化対策地域協議会 (NEW)

事務局 奈良市環境政策課内

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

TEL; 0742-34-4591 FAX; 0742-36-5466

メール new-nara@city.nara.lg.jp